

2017年度は水俣病展 2017 の開催に力を注ぎましたが、計画していた展示物リニューアルや新図録の制作を並行して進めることができなかつたため、収支ともに予算を下回り、結果として黒字決算となりました。2018年度は、セミナーや旅や読書会、NEWS発行を計画し、相応の予算を編成しました。

1. 2017年度 決算

① 2017年度決算について

- 予算では収入3,559万円、支出5,392万円で40万円の黒字を計上しましたが、決算では収入4,142万円、支出3,877万円となり、265万円の黒字となりました。以下、その概要を説明します。
- 基本収入は、水俣病展2017への寄付を見込んで計上した個人寄付が予算を下回ったことに加え、賛助会費や協賛金でも予算を下回り、全体として予算を460万円下回りました。事業収入は、水俣展展示貸出料等が予算を下回ったほか、予定していた水俣病講演録の出版および水俣展図録の制作を見送ったことで水俣展図書・物販売上と自主制作物売上が予算を大きく下回り、全体として予算を830万円下回りました。結果として総収入は予算に比して1,290万円の減収となりました。
- 運営支出は、各費目で予算を大きく増減することがなかったため、全体としてほぼ予算通りでした。事業支出は、展示物リニューアルのために計上していた展示物制作・修理費が、一部のリニューアルとしたため予算を大きく下回り、また図録制作を見込んで計上した自主制作費も予算を下回り、全体としては予算を1,526万円下回りました。以上の結果、総支出は3,877万円、予算に対して1,515万円の減額となりました。

② 2017年度 期末財産

- 資産のうち棚卸資産と固定資産を除いた流動資産は1,195万円で、前払金60万円は事務所家賃と「石牟礼道子さんを送る」広報費等、未収金173万円は前年度会費と助成金です。自主制作物などの棚卸資産は31万円です。
- 負債は、会員・協力者115名からの借入金1,446万円、預り金3万円、会費前納分190万円、未払金51万円です。未払金は2017年度事業費の一部と通信費などです。
- 正味財産は金銭では495万円のマイナスで、棚卸資産と固定資産を含めると464万円のマイナスです。一方、展示物、展示設備、版權などもあり、金銭面以外の財産も蓄積しています。

2. 2018年度 予算

- 総収入3,009万円、支出2,946万円で、収支は13万円の黒字を見込んでいます。
- 基本収入は、昨年度決算額より280万円増額しています。助成金は新規申請を前提に200万円を計上しています。個人寄付は各種発送の際に呼びかけることで、協賛金は来年度の記念講演会と水俣病大学への協力を呼びかけることで、それぞれ1,200万円および200万円を計上しています。
- 事業収入は、昨年度決算額を1,003万円下回る額としています。昨年度の熊本展の事業規模が大きかったことに比して、今年度は大きな事業を開催しないことに対応しています。なお、記念講演会収入は、記念講演会にかえて開催した「石牟

礼道子さんを送る」を入場無料としたため0円としています。

- 運営支出1,470万円は、昨年度の決算額を勘案して編成しましたが、昨年度は計画のなかった水俣展立上げ旅費とNEWS印刷・発送費用である広報費を予算計上しています。人件費は運営人件費と事業人件費に半額ずつ按分していますが、職員5名への賞与を1ヶ月分に減額し、総人件費は1,300万円としています。また、今年度は消費税の納税義務者にあたらないため、税金は法人事業税均等割7万円のみを計上しています。
- 事業支出1,476万円は、昨年度決算額を913万円下回る額としました。主な要因は、今年度は水俣展開催諸費を計上していないためです。なお、昨年より大規模の開催となった記念講演会開催費4回を予定しているセミナー開催費、水俣への旅と読書会の費用を含むツアー他事業費は増額

としています。また展示物リニューアルにかかる費用を展示物制作・修理費に、水俣展図録の制作費を自主制作費に計上しています。

3. 財政面での課題

- 資産から負債を差し引いた正味財産のプラスへの転換、および借入に頼らない運営。
- 職員の賞与・退職金積立、待遇向上などを継続するための財政基盤の強化。
- 安定した運営のための新規助成金や遺産・遺贈など新たな寄付の開拓。
- 入場者数を過大に見積もらないでも収支が保てるような各事業での開催の枠組みづくり。
- 共催による催しでの収益確保の継続。
- 水俣展とならぶ収益源としての水俣病大学定期開講事業の確立。
- 収益性の高い出版物の制作と販売への取組み。

(単位)万円

	17年度 予算	17年度 決算	18年度 予算
1) 収入	5,432	4,142	3,009
(1) 会費	480	464	480
(2) 個人寄付	1,300	963	1,200
(3) 助成金	500	494	200
(4) 賛助会費	280	210	250
(5) 協賛金	400	366	250
(6) その他雑収入	15	18	5
基本収入小計	2,975	2,515	2,385
(7) 水俣展入場・貸出料等	1,250	1,137	—
(8) 水俣展図書・物販売上	600	311	120
(9) 通常図書・物販売上	50	10	200
(10) 自主制作物売上	400	95	10
(11) 記念講演会収入	67	55	—
(12) セミナー他入場料	10	4	24
(13) 水俣病大学収入	—	—	—
(14) ツアー他事業収入	80	15	270
事業収入小計	2,457	1,627	624
2) 支出	5,392	3,877	3,007
(1) 事務所維持費	200	200	200
(2) 展示物管理費	95	87	95

	17年度 予算	17年度 決算	18年度 予算
(3) 運営人件費	707	696	650
(4) 通常旅費・交通費	85	84	85
(5) 水俣展立上げ旅費	—	1	20
(6) 設備・備品費	15	12	15
(7) 文具・消耗品費	25	35	25
(8) 通信・運搬費	80	85	80
(9) 広報費	—	4	70
(10) 法定福利費	190	195	183
(11) 租税公課	40	42	7
(12) その他	40	46	40
運営支出小計	1,477	1,487	1,470
(13) 展示物制作・修理費	1,600	113	200
(14) 水俣展開催諸費	750	1,131	—
(15) 記念講演会開催費	140	144	301
(16) セミナー開催費	8	4	16
(17) 自主制作費	250	10	50
(18) 仕入費	460	285	240
(19) 水俣病大学開催費	—	—	—
(20) ツアー他事業費	—	5	80
(21) 水俣病60年記念事業費	—	1	—
(22) 事業人件費	707	696	650
事業支出小計	3,915	2,389	1,537

	17年度 予算	17年度 決算	18年度 予算
3) 全体収支	40	265	2
(1) 運営収支	1,498	1,028	915
(2) 事業収支	▲1,458	▲762	▲913
4) 期末財産 (16、17年度末)			
(1) 資産の部			
現金	16年 7	17年 21	
預金	777	892	
仮払金	7	—	
未収金	184	173	
前払金	69	56	
電話加入権	8	8	
敷金	42	42	
棚卸資産	54	31	
固定資産	7	0	
合計	1,926	1,227	
(2) 負債の部			
借入金	16年 1,477	17年 1,446	
会費前納分	104	190	
前受金	212	—	
仮受金	—	—	
預り金	2	3	
未払金	58	51	
合計	1,854	1,690	

2017年度の決算について、定款に基づいて会計監査を行った結果、その処理が適正かつ正確であることを報告いたします。

2018年6月9日
 監事 青山俊介 印
 監事 若林昭子 印